



黒塗菊花鳥虫沈金丸外櫃  
及び緑塗鳳凰雲沈金丸内櫃

指定名称 黒塗菊花鳥虫沈金丸外櫃及び緑塗鳳凰雲沈金丸内櫃  
県指定有形文化財（工芸品）

員数 1連2合  
所在地 久米島町字山里87  
指定年月日 昭和53年4月1日  
所有者 山里桂樹

久米島の最高神女である君南風ちんべー まがの曲玉たま入れに使用した丸櫃まるびつの漆器である。沈金ちんきんは漆面に文様を彫り、漆を擦り込み乾かないうちに金粉や金箔を付着させる技法である。

尚真王代（1478～1525年）に設置された久米島君南風とんち殿内に代々継承される伝世品である。貝摺奉行設置前の16世紀頃の作品と思われる、君南風の祭具である「千代の真首玉まぐびたま」と称する曲玉の収納に使用された。

櫃は曲物の沈金作りで、内櫃には鳳

凰おうと雲そとびつ、外櫃には菊、とんぼ、小鳥、蝶等が施され、その文様は極めて精密で、琉球漆芸の最高レベルの技術を示している。久米島自然文化センターに保管している。